



習破離（しゅうはり）

校長 上原 健治

街路樹の葉に、眩しい夏の光が輝き、日本各地から山開き・海開きの声が聞かれる季節を迎えています。7月に入り、富士山も山開きを迎えます。6月22日、世界文化遺産登録が決まった富士山、浮世絵にも数々描かれた作品を全世界のみなさんにも、ぜひ鑑賞され日本の伝統文化の深さを感じとって欲しいと願っているところです。

さて、本校でも、7月2日から3泊4日で6年生移動教室（静岡県下田市）、20日からは夏休みが始まります。現在、各学年・学級、4月からの学習のまとめに取り組んでいるところです。

書道に「習破離」という言葉があります。習とは習うことです。専ら古い筆跡や先生について基本を学び、その形、運筆、心を習い身に付け覚えることです。このように、習うだけ習いもう手本を見なくても自由に書けるようになったら、自分の力で、その型を破って自分の字で書いていくのです。これは”破”と言います。この破が早すぎると良い字は書けないと言われていました。そのことは”習”がしっかり出来ていないからなのです。次の”離”は自分の書の創造の段階なので、手本や先生から離れて独自の境地を作りあげていくことです。

これは何も書道だけでなく教育全てに当てはまることです。教えることを教えず、習うべきことは習わなかったことが、言葉づかい・生活リズム等に見られるように思います。どれをとっても小さい時からしっかり教えなければならぬことです。教えたからと言ってすぐ出来るものではありません。繰り返しや発達段階に応じた働きかけが大切です。

先日、6年生図工の授業、粘土の素材を生かし「レンガの家」を創作する授業を参観しました。粘土の特性(基本)を理解し、自分や友達のを生かしながら、独自の創作活動へと展開する授業です。教師主導・型にはまった学習展開ではなく、グループ内でお互い frank な気持ちで会話を通し工夫していく姿勢が見られました。次世代を担い国際社会で生きる資質で何より大切な児童主体・発想豊かな雰囲気等が自然に感じる 45 分間でした。

良い教えは、離れても、時がたっても生き続けているのです。子供の自発性を信じるという美名に隠れて、教えることを教えないままにしないよう、各学年4月からの学習のまとめになるよう努めていきます。



生活目標 「あとしまつをきちんとしましょう」
 あいさつ目標 「町で会っても『こんにちは』」
 保健目標 「やさしい心を身につけよう」
 給食目標 「食事作法を身につけよう」

平成25年 7月行事予定

1	月	委員会活動 下田移動教室前日健診
2	火	下田移動教室始6年
3	水	移動教室説明会5年
4	木	都学力調査5年
5	金	下田移動教室終6年 ふれあい環境学習4年
6	土	
7	日	
8	月	
9	火	個人面談
10	水	研究授業(5-3)
11	木	二次避難訓練 個人面談
12	金	個人面談
13	土	土曜授業日(3校時まで) 着衣泳5,6年
14	日	
15	月	海の日
16	火	個人面談
17	水	個人面談
18	木	社会科見学4年
19	金	安全指導
20	土	
21	日	夏季休業日始
22	月	夏季水泳指導始
23	火	夏季水泳指導
24	水	夏季水泳指導
25	木	夏季水泳指導
26	金	夏季水泳指導
27	土	
28	日	
29	月	夏季水泳指導
30	火	夏季水泳指導
31	水	夏季水泳指導

心の窓～5年生～

「休み時間に体育倉庫の片付けがあるので行ってきます。」

「お昼の放送で使うので、アンケートに協力してください。」

「集会のリハーサルがあるので、いつもより早く登校します。」

5年生の教室では、このような会話があふれています。全て委員会活動に関する会話です。当番活動も軌道にのり、進んで取り組む姿や、創意工夫して取り組む姿が多く見られるようになりました。

進級したての4月には、「委員会活動なんて面倒くさい。」と言っていた子も、自然と責任感が芽生えてきたことを嬉しく思います。歴代の高学年が向山小学校の生活を支えてきてくれたように、今年の5年生も向山小学校の伝統を守って行ってほしいです。

現在、5年生では稲を大切に育てています。その稲のように、ぐんぐん成長して行ってほしいです。

- 1組 担任 池田 哲也
- 2組 担任 松村 由佳
- 3組 担任 田中 真理子

学力補充教室について

今年度も、「学力補充教室」を実施します。詳細は、個人面談で学級担任からお知らせ致します。

水泳指導、始めました。

6月21日(金)から水泳指導が始まりました。低学年は「水に慣れる遊びや浮く・もぐる遊びを楽しく行うこと」、中学年は「いろいろな浮き方や初歩的な泳ぎを身につけること」、高学年は「クロールや平泳ぎを長く続けて泳ぐこと」を目標に指導をしていきます。特に6年生は9月の水泳記録会で6年間の水泳の学びを發揮できるよう力を伸ばしていきます。

ご家庭でも、この夏の水泳の目標についてお子様とお話していただけますよう、お願いいたします。

水泳担当 瀧田 幸